

平成24年度 倉吉市教育委員会の重点施策の実績及び評価

<評価基準>
 A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった(目標値の110%以上)
 B・・・当初の目的・目標を達成した(目標値の90%以上110%未満)
 C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった(目標値の60%以上90%未満)
 D・・・当初の目的・目標を大きく下回った(目標値の60%未満)

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み内容(実績)					取り組み内容(実績)					実績	実績評価	施策評価	最終評価				
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月	3月		
倉吉市教育の創造	倉吉市教育振興基本計画の進捗管理	・基本計画に基づく重点施策実施計画の策定 ・教育に関する事務の点検・評価の推進	教育総務	基本計画に基づく重点施策実施計画の策定及び定例教育委員会へ実施計画提案						進捗状況チェック、中間評価	定例教育委員会へ中間評価の報告					・実施状況チェック、各課の自己評価・審議会等による評価の実施	・教育行政の点検・評価を行うとともに、実施計画を作成し、10月に進捗状況を報告、3月に各課による自己評価を実施した。	B	A	各施策について、おおむね当初計画のとおり実施、倉吉市小・中学校の適正配置については、意見要望等を取りまとめた具体的草案を公表するに至った。耐震化促進については、前倒しで工事発注を行い、当初計画以上に進捗した。教育委員会の活性化については、いじめに関するメッセージの発信、市長との意見交換会など、積極的な活動を行った。	
	倉吉市教育委員会の活性化	・委員の活動強化及び情報発信	教育総務	・計画訪問・諸行事等への参加 ・市ホームページによる情報発信(レコーラム等)	市長と教育委員との意見交換会(5/28)	(随時)					「いじめは許さない!」教育委員会メッセージ				市長と教育委員との意見交換会(12/27)	・いじめ対策・学校適正配置などを議題とした市長との意見交換会を2回実施した。 ・学校適正配置の説明会、諸行事等に積極的に参加するとともに、委員による計7回のレコーラムをホームページに掲載し、情報発信に努めた。	A				
	学校教育審議会答申「倉吉市立小・中学校の適正配置等について」に基づく学校再編の推進	・小学校区ごとの説明会の実施と意見要望とりまとめ	学校教育	小鴨小(4/24) 北谷小(5/10) 灘手小(5/17) 山守小(5/22) 上北条小(5/29) 成徳小(5/31)	高城小(6/5)	上小鴨小(7/5) 関金小(7/12) 河北小(7/24) 社小(7/25) 明倫小(7/31)	西郷小(8/7) 上灘小(8/9)	要望を取りまとめ市議会に報告			シンポジウムの開催(11/20)小P連、中P連、公民館長連、自治公民館連絡協議会で説明			倉吉市立小・中学校の適正配置の具体案【草案】公表	具体案【草案】について市議会に報告	校区説明会、シンポジウム等の開催、市報や市ホームページでの広報等を実施。具体案【草案】を作成。	A				
	学校教育施設・教育施設の整備運営	・河北中学校移転事業 ・学校施設耐震化促進	教育総務	工事関係 音楽室棟建築工事発注 物品購入 購入物品最終決定 移転作業 運搬物品最終決定 耐震補強工事の実施 耐震補強設計業務契約 来年度耐震補強工事予定施設の耐震補強計画の作成・工事実施設計業務	河北会館解体工事発注 屋外施設整備工事発注			成徳小体育館耐震補強工事 久米中体育館耐震補強工事 (新)河北中体育館耐震補強工事	校舎関係工事完成	屋外施設整備工事完成			物品搬入・備品登録 LAN移設設定	移転作業(3/23,3/24)	・工事・移転作業ともに概ね計画どおりに実施できた。	B					
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	学力向上の推進	・学力向上推進の支援(算数・数学、国語プリントステップ9の活用)	学校教育	加配教員配置 加配教職員研修 ステップ9活用(年間)	ステップ9各校活用状況調査	活用状況についての状況把握(課題・改善点等各校へのアンケート等)	・中学校英語ステップ9作成							成果と課題の把握と改善策の提案	中学校英語ステップ9完成	中学校英語ステップ9の完成が4月中旬にずれ込んだ。(リスニング作成の遅れ)作成済みのものについては各学校で有効活用されている。	B	B	小学校は全体に授業研究は進んでいるが、一部研究が学力向上にうまく結びついていない学校も見られる。 中学校は進学のこともあり、全体に学力向上に対する意識が高まってきているが、意識化がいま一つと思われる学校や教科もあり働きかけが必要である。 現在、小中が連携し9年間で効果的な学力向上が図れるよう研究を進めているところである。		
		・わかる授業のための授業改善(教職員の指導力の向上)	学校教育	研究主任研修会(4/5)	授業力向上への助言(校内授業研究会での指導助言及び日々の授業への助言)	学校計画訪問での指導助言	学校計画訪問での指導助言	研究主任研修会	学校計画訪問での指導助言	学校計画訪問での指導助言	学校計画訪問での指導助言	学校計画訪問での指導助言	学校計画訪問での指導助言	学校計画訪問での指導助言	学校計画訪問での指導助言	学校計画訪問での指導助言	成果と課題の共有と改善策についての検討(研究主任者会等)			成果と課題の把握と改善策の提案	B
		・細やかな指導を行うための体制づくり(少人数学級・教員加配)	学校教育	研究主任研修会(4/5) 久米中学校区学びと指導の創造事業	校内授業研究会の指導・支援(随時) 教頭研修会	学校計画訪問での指導助言	学校計画訪問での指導助言	研究主任研修会	学校計画訪問での指導助言	学校計画訪問での指導助言	学校計画訪問での指導助言	学校計画訪問での指導助言	生徒による授業評価の検討			学力実態の把握と分析研修計画	久米中学校区の小中連携が進み、学習の仕方についての共通理解が図られた。また、表現力、活用力の向上が図られた。			A	

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み内容(実績)					取り組み内容(実績)					実績	実績評価	施策評価	最終評価			
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月	3月	
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	3 豊かな心の育成	1 ・人権同和教育の充実(育てたい資質・能力を明確にした実践)	学校教育	第1回人権教育主任者会(4/5)	地区学習会(5~2月)	第2回人権教育主任者会(6/15)		第3回人権主任者会(8/31)		地区学習会訪問(10~11月)	第4回人権主任者会(11/16)		第5回人権主任者会(1/25)		作文教材「差別をなくすために」作成	「育てたい資質・能力」についての研修をとおして共通理解を深めた。 「社会的立場の自覚を深める学習」についての研修及び全体計画の見直しが必要である。	B			
		2 ・道徳教育・特別活動の充実(赤ちゃんふれあい事業)	学校教育	西中道徳教育総合支援事業	赤ちゃんふれあい会(小学校8校、中学校2校)			西中道徳理論研修会	道徳教育主任研修会			西中道徳授業研究会(11/21)		道徳教育主任研修会	西中道徳授業研究会	道徳教育総合支援事業成果発表会	西中の道徳授業改善(ねらいに迫る発問・生徒同士の関わり)が進んだ。 赤ちゃんふれあい会の実施により、児童生徒の生命尊重の心情が育ってきている。 また、多くの小中学校で幼稚園・保育園との交流学習を実施している。	A	B	いじめについて適切に対処できているが、未然防止という意味で道徳教育・人権同和教育をはじめあらゆる場面で児童生徒の心を育てる取組を地道に積み重ねることが重要である。 不登校については、チームを組んで対応したり支援会議を定期的に持つ等学校組織としての対応をすべての小中学校に定着させたい。また、hyper-QUを活用し、予防・早期対応に努めたい。
		3 ・相談体制の充実、問題行動の未然防止、進路指導の充実(子ども支援センターの充実、スクールソーシャルワーカーの配置)	学校教育	・スクールソーシャルワーカー配置、学校訪問(年間を通したスクールソーシャルワークの実施) ・不登校早期対応体制づくり ・不登校対応教員加配 ・心の教室相談員、子どもと親の相談員配置	・各校個別の指導計画、登校サポートシート作成・活用(年間) ・生徒指導についての学校計画訪問 ・要保護児童対策会議(随時) ・生徒指導対策推進会議(5/15)		・生徒指導対策推進会議		・生徒指導についての学校計画訪問	いじめ対策 ・生徒指導対策推進会議(10/30) ・各学校での研修 ・教育委員会メッセージ ・相談窓口の周知 ・市小中PTA連合会との意見交換	・生徒指導対策推進会議			・子ども支援に関する講演会開催	15日以上の欠席者への対応をするなど早期対応の体制づくりが進んだ。 長期欠席は中学校では減少したが、小学校では増加した。 いじめ報告の基準を見直した結果、年間のいじめの件数が増加した。 人材の確保が難しくスクールソーシャルワーカーの配置が遅れた。	C				
	4 倉吉に誇りと愛着をもつ子どもの育成	1 ・倉吉独自の教材づくりの推進(郷土読本の活用、作成)	学校教育	小学生副読本「わたしたちの倉吉」活用				「くらし風土記」編集委員委嘱と第1回編集委員会(8/2) 第2回編集委員会(8/23)				第3回編集委員会(12/26)		第4回編集委員会(2/26)	掲載項目を決定し、第1次原稿の取りまとめまでできた。	B	B	中学校郷土読本「くらし風土記」は2年計画での作成を予定しており、1年目は順調に進行した。 地域人材の活用により学習の充実に留まらず、児童生徒と顔見知りとなることで地域との結びつきが強まっている。 淀屋サミットでは、参加児童生徒の中から「菜の花プロジェクト」に次ぐ新たな展開に結びつきそうな発言もあり、年々充実しつつある。		
		2 ・地域の人・もの・ことがらに触れる教育活動の推進	学校教育	地域教材・ゲストチャーを活用した学習(年間)	全校遠足(伯耆国庁跡、伝統的建造物群など) まち探検(生活科、社会科) 博物館を利用した学習			親子まち並み産業見学教室(8/7)		歴史民俗博物館を利用した学習					地域学校委員会により、地域人材を活用した取り組みが進んでいる。 親子まち並み産業見学教室は生涯学習課の伝統文化体験学習教室と連携する等して参加者増を図りたい。	B	B			
		3 ・倉吉らしさを取り入れた教育活動の実施	学校教育	地域と連携した菜の花プロジェクトの実施(年間)	倉吉市小・中学生淀屋サミットの開催(5/12)			親子町なみ産業見学教室の実施(8/7) 中学生代表ミニサミットの開催(8/3) 関係機関訪問	共同区域への種子散布(9/11) とっとりまんがドリームでの種子配布(9/10)		被災地への種子送付	菜の花プロジェクト報告会(12/1)			全市で2,300人以上が参加。児童生徒の主体的な取り組みが多く見られた。	A				
					・子ども支援センター移転	・移転先検討	・仮移転	・移転先決定 ・仮移転 ・現施設解体	・現施設解体 ・予算要求		・改修工事			・移転 ・完成						

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み内容（実績）					取り組み内容（実績）					実績	実績評価	施策評価	最終評価			
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月	3月	
5	家庭・地域と連携した開かれた学校づくり	1 ・開かれた学校づくりの推進（学校ウェブページの効果的活用）	学校教育	学校ウェブページの更新		学校一斉公開(6/13,14)					各校で学校公開や行事への参加呼びかけ						全ての小中学校で学校ウェブページを使って情報発信できた。更新も頻繁に行われ内容も充実してきている。	B	B	学校ウェブページによる情報発信は定着してきている。 地域学校委員会が主体となって開催された「教育を考える会」は講演を取り入れたりグループに分かれて意見交換する等内容や運営に工夫が見られた。 中学校の学校支援ボランティアでは、河北中の移転作業や西中の「かぐや姫プロジェクト（竹林伐採）」といった新しい取組があった。
		2 学校地域連携の取り組み推進（子どもの出番づくり）	学校教育				各地区夏まつりに参加 上北条地区「教育を考える会」(7/11)	〇〇地区「教育を考える会」計画 各地区運動会の運営補助 小鴨地区「教育を考える会」(9/28)	上小鴨地区「教育を考える会」(10/31) 関金地区「教育を考える会」(10/31)	高城地区「教育を考える会」(11/9) 西郷地区「教育を考える会」(11/18) 上灘地区「教育を考える会」(11/20) 明倫地区「教育を考える会」(11/29) 北谷地区「教育を考える会」(11/30)		灘手地区「教育を考える会」(1/10)	成徳地区「教育を考える会」(2/14) 上井地区「教育を考える会」(2/16)	社地区「教育を考える会」(3/3)	教育を考える会は13地区全てで実施し、昨年に比べて2割以上参加人数が増えた地区が5地区あった。 小学生が地域のまつりに出演したり、中学生が地区運動会に役員として参加したり、地域のまつりに保護者とともに屋台を出すといった取組が広がりつつある。	B				
		3 ・学校運営に参画する体制づくり（地域学校委員会の充実）	学校教育	ボランティア募集開始 学校支援ボランティア活動（年間）	地域学校委員委嘱		第1回倉吉市地域学校推進協議会(7/13)	各校地域学校委員会（一学期のまとめ）				各校地域学校委員会（二学期のまとめ）		第2回倉吉市地域学校推進協議会	第2回倉吉市地域学校推進協議会(3/1)	地域学校委員会により、ボランティアの活動人数が増加し、延べ人数1635人であった。（平成23年度延べ人数1081人）	B			
6	よりよい倉吉教育を目指して	1 ・たくましい体の育成（体育、健康教育、学校保健の充実）	学校教育	親子で学ぶ食の教室希望調査（小学校14校年間を通じて随時）	児童体育祭 運動会 スポーツテスト	学校保健委員会 県中学校総体予選(6/7,8) 児童体育祭(6/7) 喫煙防止教育性教育講座	県中学校総体(7/21～23) 小学校中部水泳(7/26) 中学校中国・全国大会激励会(7/31)	小学校中部陸上運動会(9/27) 中学校中部駅伝(9/27)	中学校中部新人大会(10/5,6) 中学校県駅伝(10/23)				学校保健委員会 性教育講演会		中国大会参加者92名（前年比6人増）、全国大会参加者7名（2人増） 体力運動能力調査では、小・中ともに全国平均を上回っている項目が多く、概ね良好といえる。50メートル走、20メートルシャトルラン等の数値が若干下回っている。体を動かす楽しさのわかる体育の授業を目指していく必要がある。	B	B	体力面では、概ね良好ではあるが、全国的傾向と同様でスポ少や運動部で定期的に運動し体を鍛えている児童生徒と日頃あまり運動しない児童生徒の二極化傾向がみられる。 特別支援教育及び教育助成については、いずれも社会情勢もあって対応の難しい事例が増えつつある。		
		2 ・特別支援教育の充実（児童生徒を支える学校体制づくり）	学校教育	特別支援教育主任研修会(4/5)	まなびの教室教育相談(5/11) リーダー育成研修会 1年生訪問	まなびの教室教育相談(6/1) リーダー育成研修会	まなびの教室教育相談(7/6) リーダー育成研修会 ひらがな・計算調査	まなびの教室教育相談(8/3) リーダー育成研修会	まなびの教室教育相談 リーダー育成研修会	特別支援中学校区研修会 特別支援中学校区研修会 市就学指導委員会	まなびの教室教育相談 特別支援中学校区研修会 ひらがな・計算調査 市就学指導委員会	まなびの教室教育相談 特別支援中学校区研修会	倉吉市子どもの発達支援研修会 ひらがな・計算調査	ひらがな・計算調査	学びの教室教育相談会では、計8名の年長児童及び保護者に対して支援を行い、小学校へのスムーズな移行へつなげた。 リーダー育成研修会で学んだことを学校現場で活かす学校が増えた。	B				
		3 ・教育助成の充実（就学援助事業の周知と適切な執行）	学校教育	就学援助の委任状・口座等とりまとめ	修学旅行費等支払い	学用品費等支払い		特別支援教育就学奨励費支払い	学用品費等支払い 特別支援教育就学奨励費支払い				学用品費等支払い		就学援助審査会 特別支援教育就学奨励費支払い	就学援助事業が適切に執行できた。（平成24年度要・準要保護児童生徒認定率12.5%）			B	

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み内容(実績)					取り組み内容(実績)					実績	実績評価	施策評価	最終評価	
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	7 給食の充実、食育の推進	1 栄養教諭、栄養職員等の学校訪問による食に関する指導	給食センター	指導計画作成及び指導案提示 全学級訪問指導 教科等の指導 食育教室 講演会	13 0 1 2	23 17 4 7	11 8 2 2	0 0 0 0	15 11 8 1	9 17 4 1	3 21 4 0	2 24 2 1	0 3 0 1	4 11 0 0	0 0 2 1	B B	B B	「親子で学ぶ食の教室」においては保護者参加率も年々増加し、学校別参加率は全小学校で半数を超えた。食に関する教育は充実しつつあると考えられる。施設設備の改修は計画どおり実施できた。研修も計画どおり実施した。
		2 衛生管理の徹底、施設設備の計画的改修 調理室改修	給食センター	(通年)健康チェック・細菌検査・服装チェック 職員研修	夏休修理計画・メンテナンス計画	食缶洗浄機・フライヤー・ロースター更新 夏休修理・メンテナンス	冬休修理計画・メンテナンス計画 食器洗浄機設計監理委託発注	冬休修理・メンテナンス 春休修理計画・メンテナンス計画	春休修理・メンテナンス 食器洗浄機工事発注	衛生管理計画に基づき、研修や定期及び日々の点検を行った。施設設備の計画的改修を行った。								
あらゆる世代が豊かな心を育む環境づくりの推進	8 生涯学習の推進	1 学習内容・学習機会の充実(生涯学習講座・人材銀行・人材銀行企画教室)	生涯学習	・人材銀行	・人材銀行企画教室	・人材銀行企画教室	・生涯学習講座(先行特別講座・第1回) ・人材銀行企画教室	・生涯学習講座(第2・3回・市内研修) ・人材銀行企画教室	・生涯学習講座(第4・5回)	今年度の新しい取組として、人材銀行登録者を紹介する目的の登録者企画教室を開催する。派遣述べ人数141人(前年比56人増) 生涯学習講座は、参加者がどの回も100人を超えた。	A	A A A	A A A	・地域に縁のある人物を学習テーマに取り上げた講座は、継続受講者が加わり、年々魅力ある講座として定着している。 ・生涯学習情報の発信として、市と公民館のホームページの充実を図った。事業結果について迅速な掲載に心がけた。更なる情報収集・発信手段の充実が必要である。 ・短大公開講座、鳥取大学との連携によるパソコン講習は専門性を活かした人気の講座となっている。 ・ものづくり道場は、人材銀行と連携した指導者の派遣・活用機会に繋げる取り組みが必要である。				
		2 生涯学習情報の発信(学習情報のデータベース化)	生涯学習	・短大公開講座 ・大人のカヌー教室 ・人材銀行情報	・市スポーツ少年団交流大会結果 ・スポーツ教室のご案内 ・中部地区少年少女のつどい	・パソコン教室(休日教室)	・市民体育大会水泳競技の部募集	・市民体育大会水泳競技の部報告 ・生涯学習講座募集 ・市民体育大会募集	・スポーツ団体の情報提供 ・「家庭の日」絵画作品	・パソコン教室(平日教室) ・少年の主張	・パソコン教室(平日教室) ・パソコン教室(平日教室)				・ニュースポーツ交流会 ・雪遊び探検隊募集	・市スポーツ少年団キッズバレー	事業の紹介、参加者募集に加え、結果についてホームページで紹介した。	
		3 鳥取大学・鳥取短期大学と連携した学習の提供	生涯学習	・ものづくり指導者派遣、教室の実施	・短大公開講座(第1回)	・短大(第2回) ・短大(第3回) ・中部・夏の手づくり教室	・短大(第4回) ・短大(第5回) ・鳥大(パソコン入門：休日) ・鳥大(インターネット：休日) ・ものづくり指導者養成講座	・短大(第6回) ・短大(第7回) ・鳥大(ロード：休日) ・鳥大(デジカメ：平日) ・中部・夏の手づくりまつり	・鳥大(エクセル：平日) ・鳥大(インターネット：平日) ・ものづくり指導者養成講座	・鳥大(エクセル：平日) ・鳥大(ロード：平日) ・ものづくり指導者養成講座	・中部・冬の手づくりまつり				鳥大とのパソコン教室が9回144人、短大の公開講座が7回499人の参加がありどれも人気が高く、定着してきている。ものづくり道場事業は、指導者研修会、教室等で450人の参加があった。			
9 公民館活動の推進	1 住民が身近に感じる環境整備と情報発信(ホームページの活用)	生涯学習	公民館職員研修会 公民館巡回訪問 ウェブページの更新支援	公民館新規職員研修会 公民館主事研修会 公民館管理委員長会議 公民館のあり方検討会	公民館主事研修会 公民館職員新任研修会	公民館主事研修会 公民館主事研修会	公民館長研修会 公民館主事研修会	公民館主事研修会 公民館主事研修会 公民館主事研修会	公民館計画訪問 公民館主事研修会	公民館主事研修会 公民館管理委員長会	公民館主事研修会 公民館主事研修会 社会教育主事講習	公民館主事研修会 公民館主事研修会 公民館主事研修会	公民館主事研修会 公民館管理委員長会 公民館のあり方検討会	公民館主事研修会 公民館管理委員長会	B A	B A	館長研修会、主事研修会とも回数を増やし充実を図った。社会教育主事の資格講習に公民館から4人派遣した。 各地区の課題に取り組んだ研究指定事業を実施した。団体育成の特に女性連絡会について、そのあり方を検討した。	
				2 人づくり・地域づくりの推進(公民館研究指定事業)	生涯学習	公民館研究指定事業の委託、運営支援 女性連絡会の調整	中・高生等青少年の公民館事業(祭り、運動会等)への参加推進 情報発信 女性連絡協議会、役員会	女性研修会、役員会	女性連絡協議会役員会	女性連絡協議会役員会	公民館まつり 女性連絡協議会研修交流会 女性連絡協議会役員会	公民館研究大会	公民館まつり 女性連絡協議会研修交流会 女性連絡協議会役員会	公民館研究大会				公民館研究大会

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み内容（実績）					取り組み内容（実績）					実績	実績評価	施策評価	最終評価		
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月	3月
10	青少年の健全育成・家庭教育の充実	1 関係機関等との連携による少年の非行防止	生涯学習	・高校生マナーアップさわやか運動	・第1回評議委員会 ・第1回運営委員会 ・街頭補導	・第1回倉吉市青少年育成協議会	・社会を明るくする運動 ・夏の青少年を見守る運動 ・第2回運営委員会 ・青少年育成者研修会 ・家庭の日絵画作品募集		・高校生マナーアップさわやか運動 ・家庭の日絵画作品審査会 ・第3回運営委員会 ・街頭補導			・第4回運営委員会	「家庭の日」絵画作品巡回展 ・街頭補導	・第2回評議委員会 ・第5回運営委員会	・第2回倉吉市青少年育成協議会 ・第6回運営委員会	各地区青少年育成協議会の地域に密着した活動、補導センターとの連携した広域的な活動を展開した。	A	A	・新しく取り組んだ小学生伝統文化体験教室の継続、定着できるよう取り組んでいく必要がある。 ・ハンブル教室が開催できなかった。課題を明確にし、継続、内容について検討する必要がある。 ・非行少年の検挙（補導）件数は、昨年度に比べ減少したが、喫煙、深夜徘徊など不良行為は減っていない。該当補導、啓発活動など関係機関と連携した継続的取り組みが必要である。 ・中学生の地域活動への参加機会は充実してきたが、リーダー養成や組織化へは結びついてはいない。環境づくりが必要である。
		2 青少年団体の活動支援（ジュニアリーダーの養成）	生涯学習		・現状把握	・各地区の推進方法協議、計画作成	・ジュニア・リーダー活動組織づくり ・県ジュニア・リーダー研修会派遣 ・指導者育成		・地区運動会		・地区の祭り	・県ジュニア・リーダー研修会派遣	・成人式			各地区行事等での中・高校生の活躍がみられた。県の研修に中学生を派遣した。成人式では403人（79%）の参加者があった。	B		
		3 青少年の地域活動・体験活動の推進 子育て十か条の普及、啓発	生涯学習	・保護者説明会 ・西郷小放課後子ども教室開級 ・西郷小放課後子ども教室 ・各地区子どもいきいきプラン実施 ・子育て十か条の普及、啓発（ホームページの活用）	・放課後子ども運動あそび運営委員会 ・放課後子ども教室地区説明会	・中部地区少年少女のつどい参加		・伝統文化体験教室						・子ども会育成者研修会 ・雪遊び探検隊事業	・子ども会リーダー研修会 ・放課後子ども教室運営委員会		新しく小学生を対象に伝統文化体験教室を実施した。放課後及び、土日、長期休業日の小学生の体験事業に取り組んだ。		
11	体育・スポーツの振興	1 スポーツ活動機会の充実（地域スポーツの振興）	生涯学習	・スポーツ教室開催【成徳】4/10～12/25(10回・77人)【高城】4/14～12/2(8回・58人)	・放課後子ども運動あそび運営委員会	・スポーツ教室開催【上北条】6/3～21(4回・71人)【西郷】6/6～27(3回・33人)【灘手】6/1・29(2回・29人)【関金①】6/30～7/28(5回・55人) ・第1回ニュースポーツ交流会及び体力・運動能力調査(6/17)	・スポーツ教室開催【小鴨】7/14～28(3回・20人)	・スポーツ教室開催【社】8/18～10/20(3回・40人)【北谷】8/22～9/19(6回・63人)	・スポーツ教室開催【上小鴨】9/7～28(4回・40人)	・スポーツ教室開催【関金②】10/20～11/24(5回・54人)	・スポーツ教室開催【上灘】11/3～24(3回・59人)		・子ども会育成者研修会 ・雪遊び探検隊事業		・スポーツ教室開催【上井】3/16(1回・58人)	スポーツ教室、各種大会、教室等ほぼ計画どおり実施できた。スポーツ教室の延参加者数は758人で前年度比93%だった。	B	B	・スポーツ推進委員会を中心とニュースポーツ教室、各地区公民館のスポーツ教室を開催し、市民が気軽にスポーツを楽しむ機会を提供できたが、参加者数が減少傾向であり、参加者の増加に向けた対策が必要である。 ・スポーツ団体育成のための会議、研修会を開催しスキルアップを図ることができたが、今後はより充実した内容になるよう検討する必要がある。 ・スポーツ団体のデータベース化の取り組みが遅れてきた。スポーツ団体のデータベース化については、団体一覧は作成できているが各団体からの詳細情報の提供が遅れておりHP公開はできていない。
		2 スポーツ指導者の養成・団体の育成（スポーツ団体のデータベース化）	生涯学習	・スポーツ少年団本部総会(4/9) ・交流大会(野球4/14・15、バレーボール4/29)	・第1回体育協議会常任理事会(5/16) ・H24体育協会理事会(5/23)	・スポーツ推進委員第1回実技研修会(6/7)	・スポーツ推進委員第1回講習会(7/26)、 ・郡市合同実技研修会(7/29)	・市民体育大会総務委員会(8/28)・実行委員会(8/17)	・中部地区スポーツ少年団交流野球大会(9/8・15) ・きたろうカップ駅伝選手派遣(10/21)	・県民スポレク選手派遣(秋季)(10/27・28) ・米子～鳥取間駅伝選手派遣(10/11・12)	・米子～鳥取間駅伝選手派遣(10/11・12)	・第11回加藤伸一少年野球教室開催(12/9)	・第2回ニュースポーツ交流会(1/27)	・キッズバレーボール交流大会(1/26・2/11)	・県民スポレク選手派遣	・スポーツ表彰式(2/10)(冬季) ・スポーツ推進委員協議会臨時総会(3/29)			

あらゆる世代が豊かな心を育む環境づくりの推進

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み内容（実績）					取り組み内容（実績）					実績	実績評価	施策評価	最終評価						
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月	3月				
11	体育・スポーツの振興	3 体育施設の整備充実（陸上競技場整備）	生涯学習	陸上競技場観覧席改修工事設計（自主）	H23.9/22～6/4 陸上競技場水路改修工事起工・入札	陸上競技場改修工事完成（本体工事）	陸上競技場水路改修工事	7/3～8/31	陸上競技場大規模改修記念セミナー									陸上競技場改修は概ね計画どおり完了した。また、温水プール改修基本設計業務を計画していたが、新たな課題として結露対策調査に変更し業務委託を行った。	B				
				陸上競技場観覧席改修工事設計（自主）			陸上競技場補助競技場整備工事	7/20～10/5															
				陸上競技場観覧席改修工事設計（自主）			陸上競技場観覧席改修工事	7/19～8/31															
12	有形・無形の歴史的な資産の保存と活用	1 伝建地区保存修理修景事業補助	文化財	・県補助申請4/11	・伝建審議会6/15 ・伝建協総会	・伝建審現況変更委員会7/5	・文化庁現地指導(梅津調査官)7/24-25	・伝建審現況変更委員会8/30	・伝建審議会9/27	・伝建担当当事務指導(加賀市) ・現状変更部会11/8	・平成25年度補助事業計画策定 国費ヒアリング	・伝建審議会1/22	・平成25年度補助事業申請(国費) ・現状変更部会2/21	・平成25年度補助事業計画国ヒアリング(文化庁)1/9	・桑田家土蔵完成3/22	・豊田家修景交付決定10/9	・谷本家土蔵交付決定9/3 ・平成25年度補助事業県費ヒアリング	・伝建審議会3回開催(7/24-25) ・現状変更部会4回現状変更届に対応 ・伝建修理・修景事業7件実施完了。痕跡調査等確認しながら変更対応する。 ・修理希望多く26・27年までの調整検討中。 ・修理内容の変更等があったが、概ね計画どおり実施できた。	B			・本年度の修理修景事業は年度内に完了し計画通り実施できた。伝建審議会、現状変更部会等を開催し伝建地区保存事業の推進を図った。 ・昭和48年から調査を実施した史跡伯耆国府跡の出土遺物を再整理し、出土遺物の再確認・注記作業・編年指標土器の復原を実施し、今後の伯耆国府跡の調査や史跡整備に向けて環境を整えた。	
				・県補助申請4/11	・伝建審議会6/15 ・伝建協総会	・伝建審現況変更委員会7/5	・文化庁現地指導(梅津調査官)7/24-25	・伝建審現況変更委員会8/30	・伝建審議会9/27	・伝建担当当事務指導(加賀市) ・現状変更部会11/8	・平成25年度補助事業計画策定 国費ヒアリング	・伝建審議会1/22	・平成25年度補助事業申請(国費) ・現状変更部会2/21	・平成25年度補助事業計画国ヒアリング(文化庁)1/9	・桑田家土蔵完成3/22	・豊田家修景交付決定10/9	・谷本家土蔵交付決定9/3 ・平成25年度補助事業県費ヒアリング	・伝建審議会3回開催(7/24-25) ・現状変更部会4回現状変更届に対応 ・伝建修理・修景事業7件実施完了。痕跡調査等確認しながら変更対応する。 ・修理希望多く26・27年までの調整検討中。 ・修理内容の変更等があったが、概ね計画どおり実施できた。	B			・本年度の修理修景事業は年度内に完了し計画通り実施できた。伝建審議会、現状変更部会等を開催し伝建地区保存事業の推進を図った。 ・昭和48年から調査を実施した史跡伯耆国府跡の出土遺物を再整理し、出土遺物の再確認・注記作業・編年指標土器の復原を実施し、今後の伯耆国府跡の調査や史跡整備に向けて環境を整えた。	
				・県補助申請4/11	・伝建審議会6/15 ・伝建協総会	・伝建審現況変更委員会7/5	・文化庁現地指導(梅津調査官)7/24-25	・伝建審現況変更委員会8/30	・伝建審議会9/27	・伝建担当当事務指導(加賀市) ・現状変更部会11/8	・平成25年度補助事業計画策定 国費ヒアリング	・伝建審議会1/22	・平成25年度補助事業申請(国費) ・現状変更部会2/21	・平成25年度補助事業計画国ヒアリング(文化庁)1/9	・桑田家土蔵完成3/22	・豊田家修景交付決定10/9	・谷本家土蔵交付決定9/3 ・平成25年度補助事業県費ヒアリング	・伝建審議会3回開催(7/24-25) ・現状変更部会4回現状変更届に対応 ・伝建修理・修景事業7件実施完了。痕跡調査等確認しながら変更対応する。 ・修理希望多く26・27年までの調整検討中。 ・修理内容の変更等があったが、概ね計画どおり実施できた。	B			・本年度の修理修景事業は年度内に完了し計画通り実施できた。伝建審議会、現状変更部会等を開催し伝建地区保存事業の推進を図った。 ・昭和48年から調査を実施した史跡伯耆国府跡の出土遺物を再整理し、出土遺物の再確認・注記作業・編年指標土器の復原を実施し、今後の伯耆国府跡の調査や史跡整備に向けて環境を整えた。	
13	親しみ学ぶ機会の提供できる博物館	1 郷土の文化芸術、伝統文化を学べる場の提供	博物館	・郷土作家常設入替 ・民俗資料館展示入替	・倉吉市美術展覧会開催準備(作品搬入、審査会開催)	・倉吉市美術展覧会開催(3～26日)	・郷土作家常設入替 ・民俗資料館常設入替	・博物館講座	・民俗資料館常設入替 ・博物館講座	・博物館講座	・鳥取県美術展覧会開催(7～23日) ・博物館講座	・民俗資料館常設入替 ・博物館講座	・考古常設入替 ・博物館講座	・常設入替 ・博物館講座	・創作文華展開催 ・民俗資料館常設入替 ・博物館講座	館藏品にテーマ性を持たせて常設展を実施した。講座や実技体験の博物館講座を計画どおり10回開催した。	B			・特別展等と関連付けた常設展示を実施した。美術常設は、館藏品を活用し時季を捉えて展示した。 ・菅大賞表彰式には受賞者全員が参加。会期中の出品者来館も多く、認知度が増していると実感した。 ・大江磐代君顕彰展では、皇室と倉吉とのつながりについても市民に伝えることができ、地域への愛着と誇りをもつ展示事業となった。			
				・郷土作家常設入替 ・民俗資料館展示入替	・倉吉市美術展覧会開催準備(作品搬入、審査会開催)	・倉吉市美術展覧会開催(3～26日)	・郷土作家常設入替 ・民俗資料館常設入替	・博物館講座	・民俗資料館常設入替 ・博物館講座	・博物館講座	・鳥取県美術展覧会開催(7～23日) ・博物館講座	・民俗資料館常設入替 ・博物館講座	・博物館講座	・鳥取県美術展覧会開催(7～23日) ・博物館講座	・民俗資料館常設入替 ・博物館講座	・考古常設入替 ・博物館講座	・常設入替 ・博物館講座	・創作文華展開催 ・民俗資料館常設入替 ・博物館講座	館藏品にテーマ性を持たせて常設展を実施した。講座や実技体験の博物館講座を計画どおり10回開催した。	B			・特別展等と関連付けた常設展示を実施した。美術常設は、館藏品を活用し時季を捉えて展示した。 ・菅大賞表彰式には受賞者全員が参加。会期中の出品者来館も多く、認知度が増していると実感した。 ・大江磐代君顕彰展では、皇室と倉吉とのつながりについても市民に伝えることができ、地域への愛着と誇りをもつ展示事業となった。
				・郷土作家常設入替 ・民俗資料館展示入替	・倉吉市美術展覧会開催準備(作品搬入、審査会開催)	・倉吉市美術展覧会開催(3～26日)	・郷土作家常設入替 ・民俗資料館常設入替	・博物館講座	・民俗資料館常設入替 ・博物館講座	・博物館講座	・鳥取県美術展覧会開催(7～23日) ・博物館講座	・民俗資料館常設入替 ・博物館講座	・博物館講座	・鳥取県美術展覧会開催(7～23日) ・博物館講座	・民俗資料館常設入替 ・博物館講座	・考古常設入替 ・博物館講座	・常設入替 ・博物館講座	・創作文華展開催 ・民俗資料館常設入替 ・博物館講座	館藏品にテーマ性を持たせて常設展を実施した。講座や実技体験の博物館講座を計画どおり10回開催した。	B			・特別展等と関連付けた常設展示を実施した。美術常設は、館藏品を活用し時季を捉えて展示した。 ・菅大賞表彰式には受賞者全員が参加。会期中の出品者来館も多く、認知度が増していると実感した。 ・大江磐代君顕彰展では、皇室と倉吉とのつながりについても市民に伝えることができ、地域への愛着と誇りをもつ展示事業となった。
13	親しみ学ぶ機会の提供できる博物館	2 トリエンナーレ美術賞の推進と活用	博物館	・第8回菅桶彦大賞審査員審査会日程調整	・第8回菅桶彦大賞審査会場の決定と作家連絡	・第8回菅桶彦大賞審査会(14日) ・審査結果の広報	・第8回菅桶彦大賞審査会(14日) ・審査結果の広報	・第8回菅桶彦大賞展京都会場開催(7～12日)	・第8回菅桶彦大賞展倉吉会場開催(8～10/8)	・市民賞の決定と広報						菅大賞展をはじめ京都会場で開催し多くの入館者があった。倉吉会場では菅桶彦作品も併せて展示した。	B			・特別展等と関連付けた常設展示を実施した。美術常設は、館藏品を活用し時季を捉えて展示した。 ・菅大賞表彰式には受賞者全員が参加。会期中の出品者来館も多く、認知度が増していると実感した。 ・大江磐代君顕彰展では、皇室と倉吉とのつながりについても市民に伝えることができ、地域への愛着と誇りをもつ展示事業となった。			
				・第8回菅桶彦大賞審査員審査会日程調整	・第8回菅桶彦大賞審査会場の決定と作家連絡	・第8回菅桶彦大賞審査会(14日) ・審査結果の広報	・第8回菅桶彦大賞審査会(14日) ・審査結果の広報	・第8回菅桶彦大賞展京都会場開催(7～12日)	・第8回菅桶彦大賞展倉吉会場開催(8～10/8)	・市民賞の決定と広報								菅大賞展をはじめ京都会場で開催し多くの入館者があった。倉吉会場では菅桶彦作品も併せて展示した。	B			・特別展等と関連付けた常設展示を実施した。美術常設は、館藏品を活用し時季を捉えて展示した。 ・菅大賞表彰式には受賞者全員が参加。会期中の出品者来館も多く、認知度が増していると実感した。 ・大江磐代君顕彰展では、皇室と倉吉とのつながりについても市民に伝えることができ、地域への愛着と誇りをもつ展示事業となった。	
				・第8回菅桶彦大賞審査員審査会日程調整	・第8回菅桶彦大賞審査会場の決定と作家連絡	・第8回菅桶彦大賞審査会(14日) ・審査結果の広報	・第8回菅桶彦大賞審査会(14日) ・審査結果の広報	・第8回菅桶彦大賞展京都会場開催(7～12日)	・第8回菅桶彦大賞展倉吉会場開催(8～10/8)	・市民賞の決定と広報								菅大賞展をはじめ京都会場で開催し多くの入館者があった。倉吉会場では菅桶彦作品も併せて展示した。	B			・特別展等と関連付けた常設展示を実施した。美術常設は、館藏品を活用し時季を捉えて展示した。 ・菅大賞表彰式には受賞者全員が参加。会期中の出品者来館も多く、認知度が増していると実感した。 ・大江磐代君顕彰展では、皇室と倉吉とのつながりについても市民に伝えることができ、地域への愛着と誇りをもつ展示事業となった。	
13	親しみ学ぶ機会の提供できる博物館	3 大江磐代君顕彰展の開催	博物館	・資料調査(京都市内)	・資料調査(京都・東京)	・第1回調査委員会(27日)	・資料調査(京都) ・資料展示運送業者選定	・ポスター・チラシの作成と配付 ・図録原稿準備 ・資料調査(東京)	・ポスター・チラシの作成と配付 ・図録作成 ・大2回調査委員会(30日)	・図録完成 ・第3回調査委員会(11日) ・大江磐代君顕彰展開催 ・記念講演会(21日)	・ゆかりの地めぐり開催 ・展示解説実施 ・借用資料返却			・第4回調査委員会(26日) ・宮内庁収蔵資料調査	・京都寺院調査 ・京都府総合歴史資料館調査	ゆかりの寺院等から資料を借り受け、顕彰展を開催した。大江磐代君の存在や功績を多くの市民に伝えることができた。	A			・特別展等と関連付けた常設展示を実施した。美術常設は、館藏品を活用し時季を捉えて展示した。 ・菅大賞表彰式には受賞者全員が参加。会期中の出品者来館も多く、認知度が増していると実感した。 ・大江磐代君顕彰展では、皇室と倉吉とのつながりについても市民に伝えることができ、地域への愛着と誇りをもつ展示事業となった。			
				・資料調査(京都市内)	・資料調査(京都・東京)	・第1回調査委員会(27日)	・資料調査(京都) ・資料展示運送業者選定	・ポスター・チラシの作成と配付 ・図録原稿準備 ・資料調査(東京)	・ポスター・チラシの作成と配付 ・図録作成 ・大2回調査委員会(30日)	・図録完成 ・第3回調査委員会(11日) ・大江磐代君顕彰展開催 ・記念講演会(21日)	・ゆかりの地めぐり開催 ・展示解説実施 ・借用資料返却					・第4回調査委員会(26日) ・宮内庁収蔵資料調査	・京都寺院調査 ・京都府総合歴史資料館調査	ゆかりの寺院等から資料を借り受け、顕彰展を開催した。大江磐代君の存在や功績を多くの市民に伝えることができた。	A			・特別展等と関連付けた常設展示を実施した。美術常設は、館藏品を活用し時季を捉えて展示した。 ・菅大賞表彰式には受賞者全員が参加。会期中の出品者来館も多く、認知度が増していると実感した。 ・大江磐代君顕彰展では、皇室と倉吉とのつながりについても市民に伝えることができ、地域への愛着と誇りをもつ展示事業となった。	
				・資料調査(京都市内)	・資料調査(京都・東京)	・第1回調査委員会(27日)	・資料調査(京都) ・資料展示運送業者選定	・ポスター・チラシの作成と配付 ・図録原稿準備 ・資料調査(東京)	・ポスター・チラシの作成と配付 ・図録作成 ・大2回調査委員会(30日)	・図録完成 ・第3回調査委員会(11日) ・大江磐代君顕彰展開催 ・記念講演会(21日)	・ゆかりの地めぐり開催 ・展示解説実施 ・借用資料返却					・第4回調査委員会(26日) ・宮内庁収蔵資料調査	・京都寺院調査 ・京都府総合歴史資料館調査	ゆかりの寺院等から資料を借り受け、顕彰展を開催した。大江磐代君の存在や功績を多くの市民に伝えることができた。	A			・特別展等と関連付けた常設展示を実施した。美術常設は、館藏品を活用し時季を捉えて展示した。 ・菅大賞表彰式には受賞者全員が参加。会期中の出品者来館も多く、認知度が増していると実感した。 ・大江磐代君顕彰展では、皇室と倉吉とのつながりについても市民に伝えることができ、地域への愛着と誇りをもつ展示事業となった。	

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み内容（実績）					取り組み内容（実績）					実績	実績評価	施策評価	最終評価			
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月	3月	
14	豊かな心を育む図書館づくりの推進	1 図書館資料の収集提供の充実	図書館	世界自閉症啓発郷土の観光スポット紹介	子どもの読書週間「君と未来をつなぐ本」	武田美徳絵本展示 花と野菜を育ててみよう	7月21日(土) やなせたかしの世界 鳥取地方气象台「お天気広場」 109人	夏休みは図書館へ 絵本の夏を楽しもう 本にでてきた魅惑のレシピ	とよたかずひこ絵本展示 注目される郷土出身漫画家たち	とよたかずひこ絵本展示 うつ病など心の病気 絵本の秋を楽しもう	とよたかずひこ絵本展示 うつ病など心の病気 絵本の秋を楽しもう	ガイナーレ鳥取選手のオススメの本 図書館マナー 今月の言葉の本	素敵な写真撮ってみませんか おはなしの楽しさ一緒に伝えよう	2012よく読まれた本の紹介 冬の絵本を楽しもう この時代小説がすごい	わくわくドキドキ熟年時代 応援します新生活 チョコッと気持ちを伝えよう	世界自閉症啓発デー 平成24年ベストリーダー 絵本の春を楽しもう	さまざまなテーマの展示を行い読書への興味を喚起し資料の収集提供を行った。	B	B	ブックスタートは効果も現れ評価できる。春秋の絵本作家講演会も好評であった。館内で多くの展示を行いさまざまな情報提供に努めた。山上憶良短歌募集は一年目にかかわらず多くの作品が集まり質も高いなど満足できる成果であった。倉吉文芸も応募者、応募作品とも前年度を上回る好成績であった。
		2 読書活動の推進	図書館	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 40人 1歳6ヶ月28人	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 39人 1歳6ヶ月37人	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 45人 1歳6ヶ月31人	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 36人 1歳6ヶ月30人	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 31人 1歳6ヶ月34人	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 29人 1歳6ヶ月31人	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 35人 1歳6ヶ月31人	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 26人 1歳6ヶ月43人	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 41人 1歳6ヶ月31人	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 34人 1歳6ヶ月30人	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 30人 1歳6ヶ月43人	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 31人 1歳6ヶ月44人 10月～3月来館者数 132,272人 ※目標の個人貸出数7.0以上を達成	ブックスタートは大変好評で、読み聞かせの普及に効果があり満足できる。	A			
		3 山上憶良短歌募集・倉吉文芸編集	図書館			倉吉文芸編集会議（6月13日） 山上憶良短歌募集実行委員会（6月29日）	倉吉文芸編集会議（7月8日）	倉吉文芸作品募集（8月1日～9月28日）	朗読ボランティア「やまびこ」による短歌指導 倉吉文芸作品募集	朗読ボランティア「やまびこ」による短歌指導	山上憶良短歌賞作品募集（11月1日～12月28日） 倉吉文芸編集会議（11月11日）	山上憶良短歌賞作品募集 倉吉文芸編集	山上憶良短歌賞審査会（1月10日）	山上憶良短歌賞受賞作品集編集 倉吉文芸編集会議（2月24日）	山上憶良短歌賞表彰式（3月24日） 倉吉文芸表彰式（3月26日）	山上憶良短歌応募作品は1234点と多く作品のレベルも高かった。倉吉文芸は応募人数、応募作品数とも昨年度を上回った。	A			